

徳島県立鳥居龍蔵記念博物館年報

第7号（平成28年度）

Annual Report of the Tokushima Prefectural Torii Ryuzo Memorial Museum
No. 7 (for the fiscal year of 2016)

目 次

I 展覧事業	2	V 管理運営	15
1. 常設展		1. 組織・職員	
2. 企画展		2. 防災及び危機管理	
3. その他の展示		3. 鳥居龍蔵記念博物館協議会	
4. 展示関係出版物		4. 視察等来訪者	
II 調査研究事業	8	VI 観覧者統計	17
1. 平成28年度の調査概要		VII 施設の概要	19
2. 研究成果の公表		1. 沿革	
III 資料収集保存事業	9	2. 施設の概要	
1. 館蔵資料数		VIII 例規	20
2. 写真・映像等の提供			
3. 資料閲覧			
4. 資料整理ボランティア			
5. 資料の保存			
IV 普及教育事業	11		
1. 普及行事			
2. 学校教育の支援			
3. 講師の派遣			
4. インターネットによる情報発信			
5. 鳥居龍蔵記念 徳島歴史文化フォーラム の開催			

I 展覧事業

鳥居龍蔵記念博物館の展示は、常設展と企画展、その他の展示からなる。

常設展は、鳥居龍蔵の生涯と研究業績を分かりやすく学ぶことができるよう3つの展示室で構成している。

東アジア各地における龍蔵の調査ルートをLEDランプで示す床地図、遼王朝の陵墓の復元模型とともに、収集した資料や写真を通して龍蔵の足跡が学べる展示内容としている。土器パズルや民族衣装などの体験学習キット、映像資料が検索・閲覧できるパソコンや、随時展示替える「トピックコーナー」も設置している。

常設展以外に、期間を限定して、特定のテーマに即して開催する企画展等がある。28年度は、企画展を1回開催した。

1. 常設展

(1) 展示構成

■第1展示室 鳥居龍蔵の見たアジア

鳥居龍蔵のアジア調査の成果について、地域別に概観できるよう構成している。龍蔵が撮影した写真、龍蔵が採集した民族・考古資料を幅広く紹介している。

1. 台湾・中国西南部
2. 中国東北部・内モンゴル
3. 遼
4. 朝鮮半島
5. 千島列島・サハリン・シベリア
6. 日本列島

■第2展示室 鳥居龍蔵の生涯

人類学を志した徳島での少年時代から、やがて東京に移ってからの研究、家族とともに携わった調査など、生涯にわたる足跡や多彩な交流の様子を紹介している。

1. 人類学への志
2. 家族とともに
3. 南アメリカ

■第3展示室 鳥居龍蔵から学ぶもの

検索機能を備えたパソコンを設置したり書籍を配架したりして、鳥居龍蔵の学問的な成果が学べるとともに、子どもも楽しめる体験学習キットを用意している。

1. 情報コーナー（パソコンを使った鳥居龍蔵撮影の写真の検索・閲覧や番組型コンテンツの提供）

2. 体験展示（土器パズル、カメラ体験、民族衣装の試着など）
3. 図書コーナー（鳥居龍蔵の著作などの閲覧用提供）

(2) トピックコーナーの展示替え

平成24年度より、第2展示室内の一部をトピックコーナーとし、整理の進んだ資料を中心に随時展示替えを行っている。28年度の実績は次のとおりである。

●鳥居龍蔵「石器時代」の「固有日本人」を探る

—1917年の近畿地方調査—

平成27年度〔1月26日（火）〕～6月19日（日）

展示資料点数 12点（館蔵資料12点）

鳥居龍蔵が1917年に、本山彦一（大阪毎日新聞社長）らとともに行った近畿地方調査と「固有日本人」説について紹介した。

●鳥居龍蔵、伊予大洲に巨石構造物を探る

6月21日（火）～11月6日（日）

展示資料点数 8点（館蔵資料8点）

鳥居龍蔵が1928年に伊予大洲で実施した巨石構造物の調査の様子と、これに関わった人びとについて紹介した。



「鳥居龍蔵、伊予大洲に巨石構造物を探る」の展示風景

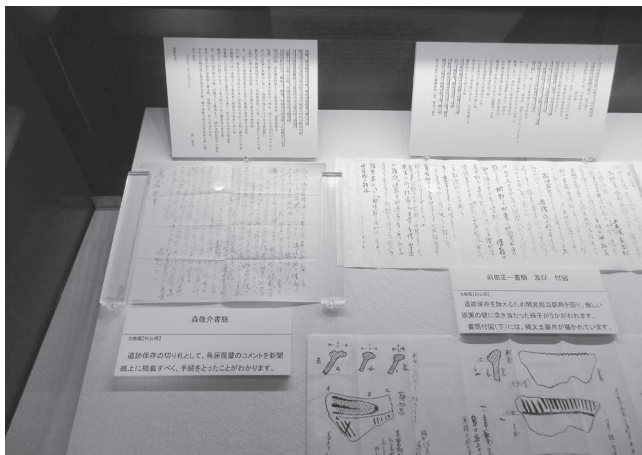
●文化財保護の黎明と鳥居龍蔵

11月8日（火）～平成29年度〔4月2日（日）〕

展示資料点数 8点（館蔵資料8点）

1923年徳島市の勢見山山麓にある「岩の鼻」の遺跡

に関して、鳥居龍蔵と森敬介、前田正一の間で交わされた書簡を中心に、当時の遺跡保存運動について紹介した。



「文化財保護の黎明と鳥居龍蔵」の展示風景

2. 企画展

(1) 企画展「遙かなるマチュピチュー—鳥居龍蔵、南アメリカを行く—」

鳥居龍蔵は、1937（昭和12）年、外務省の「文化使節」として、息子の龍次郎と共にブラジルを訪問し、サンパウロ近郊の貝塚やアマゾン川河口にあるマラジョ島の遺跡などで発掘調査を行うとともに、アマゾン川流域で人類学的調査を行った。さらに、ペルー中央日本人会からの要請を受け、ペルーとボリビアを訪問した。ペルーでは、マチュピチュ遺跡、モヘケ遺跡を、ボリビアでは、ティワナク遺跡などを訪問した。また、各地の著名な人類学者や考古学者たちと出会い、友好を深めた。

今回の企画展では、考古資料、歴史資料、民族資料、写真をもとに、従来あまり注目されてこなかった鳥居の南アメリカ調査の様相を紹介した。

- 主催 徳島県立鳥居龍蔵記念博物館
徳島県立博物館
- 会場 徳島県立博物館企画展示室
- 会期 平成29年1月28日（土）～3月5日（日）
（開館日数32日）

●展示構成とおもな展示資料

- プロローグ 鳥居龍蔵とアメリカ大陸
 - ・南アメリカと中央アメリカの地図 当館蔵

第1章 旅立ち以前—南方へのまなざし—

- ・アジア各民族の生体計測データ 当館蔵
- ・原稿「東亜圏の諸民族」（未刊） 当館蔵

第2章 旅の途上にて

- ・絵はがき「ぶえのすあいれす丸」 当館蔵
- ・1937年3月23日付け新嘉坡日報 当館蔵
- ・ホンコン観光記念絵はがき 当館蔵
- ・南アフリカのダーバン観光記念絵はがき 当館蔵
- ・南アフリカのケープタウン博物館の写真 当館蔵

第3章 南アメリカでの軌跡

第1節 ブラジル調査—外務省の文化使節として—

- ・南アメリカの地図 当館蔵
- ・トーレスとの記念写真 当館蔵

①新聞各紙の報道

- ・1937年5月5日付け「日本新聞」 当館蔵
- ・1937年5月11日付け「日伯新聞」 当館蔵
- ・1937年5月11日付け新聞切り抜き 当館蔵
- ・1937年5月12日付け新聞切り抜き 当館蔵

②ミナスジェライス州、サンパウロ州を探る

- ・鳥居博士当州歓迎準備ニ関シ報告ノ件 当館蔵
- ・鳥居のサンパウロ州調査に使用した地図 当館蔵

【ラゴアサンタ遺跡】

- ・ルンドの著書 当館蔵
- ・イエーリングの著書 当館蔵

【ジボブラ貝塚】

- ・鳥居と調査協力者たちの写真 当館蔵
- ・鳥居が調査に使用した地図 当館蔵
- ・人類学叢刊乙先史学 第二冊 ブラジル、サンパウロ州内の考古学的調査 当館蔵

【アリアンサ遺跡】

- ・アリアンサの集石遺構の写真 当館蔵

③パラ州、アマゾナス州を探る

- ・鳥居とマラジョ島調査の協力者たちの写真 当館蔵
- ・アマゾニア産業株式会社の中崎邦夫から鳥居宛の書簡 当館蔵

【鳥居が収集したアマゾン川流域の土器】

当館蔵

第2節 ペルー、ボリビア調査—ペルー中央日本人会と共に—

①ペルー中央日本人会

- ・秘露中央日本人会名簿 当館蔵
- ・ペルーの地図 当館蔵

②インカ時代以前を探る

【セロセチン遺跡】

- ・テーヨとの記念写真 当館蔵
- ・セロセチン遺跡を紹介する新聞記事の切り抜き 当館蔵

4 展覧事業

【リマ市近郊でのミイラ発掘調査】

- ・発掘調査中の様子の写真 当館蔵
- ・副葬品の小型織機の出土状況の写真 当館蔵
- ・小型織機 当館蔵

【ティワナク遺跡】

- ・半地下式広場を調査中の鳥居の写真 当館蔵
- ・鳥居が入手したティワナク遺跡の報告書 当館蔵

③インカ帝国を探る

【サクサワマン遺跡】

- ・サクサワマン遺跡での鳥居の写真 当館蔵
- ・絵はがき「サクサワマン遺跡」 当館蔵
- ・クスコ考古学会誌 当館蔵

【マチュピチュ遺跡】

- ・マチュピチュ遺跡の遠景写真 当館蔵
- ・マチュピチュ遺跡の近景 当館蔵

【鳥居が収集したインカ帝国関係の書籍】

- ・インカランド 当館蔵
- ・インカ帝国 当館蔵
- ・クスコの歴史 当館蔵

【鳥居が収集したペルーの土器】

- ・彩色の鏡型土器 当館蔵
- ・彩色の壺 当館蔵
- ・彩色の水差し 当館蔵
- ・ミニチュア彩色の把手付き壺 当館蔵
- ・彩色の猿付き鏡型土器 当館蔵
- ・インカ文化の土器 当館蔵

第3節 鳥居龍蔵をめぐる人々

【レヴィ＝ストロース夫妻】

- ・人類学調査の手引き書 当館蔵

【フリーオ・C・テーヨ】

- ・テーヨと鳥居龍蔵の写真 当館蔵
- ・インカ 当館蔵

【泉靖一】

- ・泉靖一著作集（全8冊） 当館蔵

トピック 南アメリカの民族資料—国立民族学博物館所蔵資料から—

- ・男性用 貫頭衣 国立民族学博物館蔵
- ・矢筒 国立民族学博物館蔵
- ・棍棒 国立民族学博物館蔵
- ・布（古代インカ裂地） 国立民族学博物館蔵
- ・セロセチン遺跡の石彫の拓本 国立民族学博物館蔵

エピソード 旅の終わりに

【アメリカ合衆国での消息】

- ・ロサンゼルス永峰邸での鳥居の写真 当館蔵
- ・鳥居龍蔵から緑子への書簡 当館蔵

【帰国後の報告】

- ・講演記録「インカの文化に就て」 当館蔵
- ・講演記録「考古学上より見たるブラジルとペルー」 当館蔵
- ・原稿「南米より帰りて」 当館蔵

●展示資料総点数 219点（館蔵資料185点）

●観覧料

一般200円（65歳以上100円）、高校・大学生100円、小・中学生50円

●観覧者数 2,905人

●関連行事

①記念講演会

日時 2月5日（日）午後1時30分～3時
 会場 徳島県立博物館講座室
 講師 関雄二氏（国立民族学博物館教授）
 演題 「日本人によるアンデス考古学調査—鳥居龍蔵の思いを受けて—」

参加者 51人

②展示解説

第1回：日時 1月29日（日）
 午後1時30分～2時30分

参加者 52人

第2回：日時 2月11日（土）
 午前10時30分～11時30分

参加者 10人

午後1時30分～2時30分

参加者 10人

第3回：日時 2月12日（日）
 午後1時30分～2時30分

参加者 32人

第4回：日時 3月5日（日）
 午後1時30分～2時30分

参加者 31人

③ワークショップ「アンデスの民族衣装や楽器を楽しもう」

日時 2月26日（日）
 午後1時30分～2時30分

会場 文化の森 多目的活動室

参加者 12人

企画展

遙かなる マチュピチュ

—鳥居龍蔵、南アメリカを行く—

マチュピチュ遺跡 (1917年撮影)

平成29年
1月28日[土] ~ 3月5日[日]

【会場】徳島県立博物館 企画展示室

【開館時間】9:30 ~ 17:00 (休館日) 月曜日
 【観覧料】一般 200円、高校生・大学生 100円、小・中学生 50円
 徳島県立鳥居龍蔵記念博物館 開館100周年記念企画展 企画展示室にて開催
 徳島県立鳥居龍蔵記念博物館 開館100周年記念企画展 企画展示室にて開催
 徳島県立鳥居龍蔵記念博物館 開館100周年記念企画展 企画展示室にて開催
 【主催】徳島県立鳥居龍蔵記念博物館、徳島県立博物館 (協力) 国立民族学博物館

文化の森総合公園
徳島県立鳥居龍蔵記念博物館 〒770-8070 徳島市八万町向寺山 tel 088-668-2544 fax 088-668-7197
http://www.torii-museum.tokushima-ec.ed.jp

企画展

遙かなる マチュピチュ

—鳥居龍蔵、南アメリカを行く—

(ブラジル ママゾン調査時)

【展示構成】

プロローグ 鳥居龍蔵とアメリカ大陸

- ①旅立ち以前
- ②旅の途上にて
- ③南アメリカでの軌跡

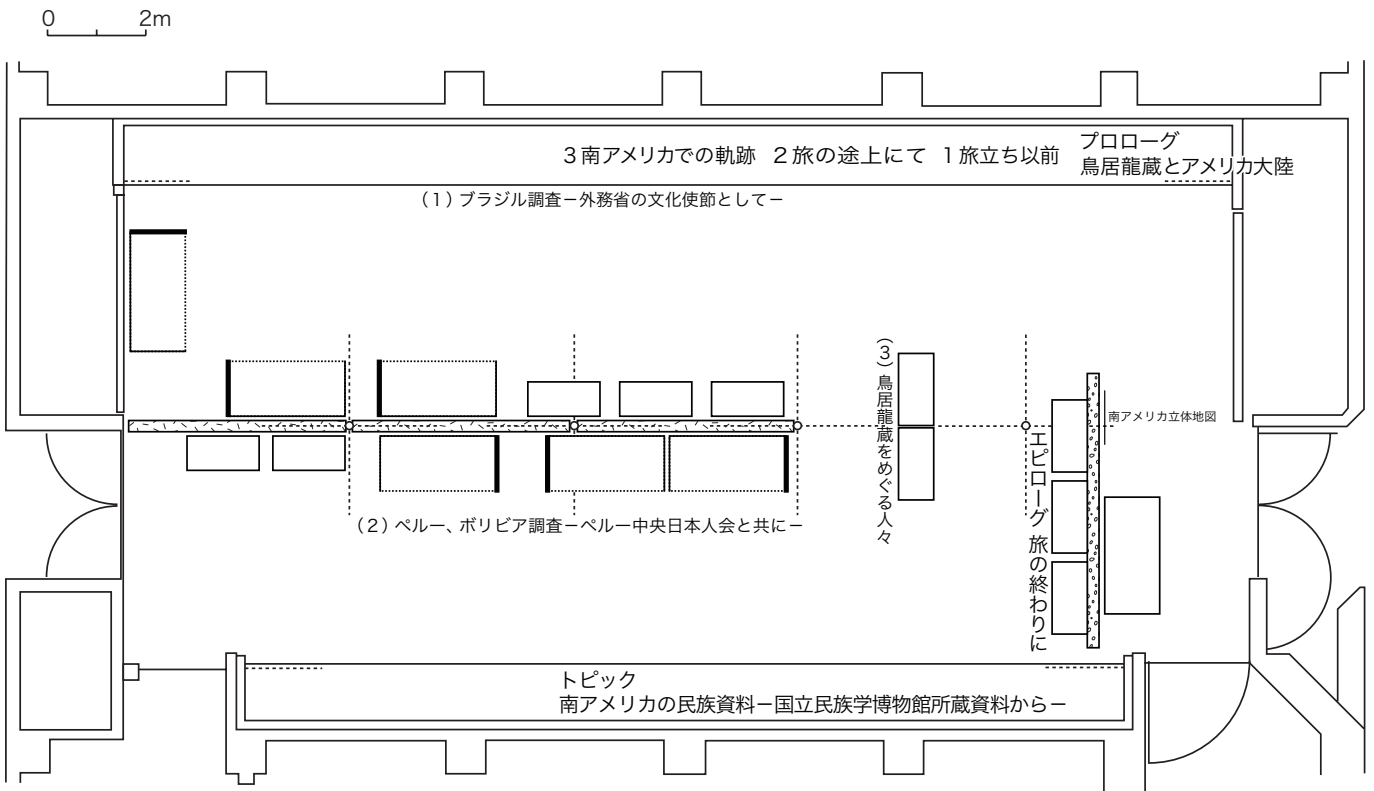
トピック 南アメリカの民族資料—国立民族学博物館所蔵資料から—
エピローグ 旅の終わりに

【関連行事】

- (1) 展示解説
日時：平成29年1月29日(日)、2月12日(日) 13:30 ~ 14:30
場所：企画展示室 (観覧料が必要です)
- (2) 記念講演会「日本人によるアンデス考古学調査—鳥居龍蔵の思いを受けて—」
講師：關雄三氏 (国立民族学博物館教授)
日時：2月5日(日) 13:30 ~ 15:00
場所：博物館講義室 (入場無料)
- (3) ワークショップ「アンデスの民族衣装や楽器をまじもう」
日時：2月26日(日)
①13:30 ~ 14:30 ②15:00 ~ 16:00
場所：文化の森 多目的活動室
対象：小学生以上 (定員各10名、小学生は保護者同伴)
※参加ご希望の方は往復はがきに、希望する時間帯、氏名(仮名可)、保護者(学年、住所、電話番号)を記入し、徳島県立鳥居龍蔵記念博物館までご送付ください。
2月16日(木)必着。希望多数の場合は抽選します。

文化の森総合公園
徳島県立鳥居龍蔵記念博物館
〒770-8070 徳島市八万町向寺山
tel 088-668-2544 fax 088-668-7197
http://www.torii-museum.tokushima-ec.ed.jp

チラシ (写真左：表 写真右：裏)



「遙かなるマチュピチュ—鳥居龍蔵、南アメリカを行く—」展示配置図

6 展覧事業



「遙かなるマチュピチュ」の導入展示



ブラジル関係資料の展示



ペルー関係資料の展示



マチュピチュ遺跡の展示



記念講演会



展示解説

3. その他の展示

(1) 2016年度文化の森人権問題啓発展

文化の森6館と徳島県教育委員会人権教育課との共催で、人権問題啓発展（識字学級生の作品を中心とする展示）を行った。

主催 文化の森6館、徳島県教育委員会人権教育課

期間 平成28年12月9日（金）～12月15日（木）

会場 近代美術館ギャラリー（展示）

ミニシアター（ビデオ上映）

入場者数 244人

(2) 2階中央ロビーでの展示

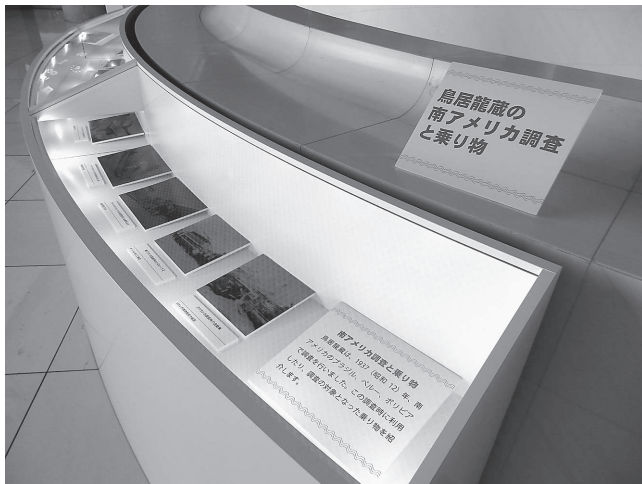
常設展示室前の2階中央ロビーに設置されている展示ケースを使用して展示を行った。

●鳥居龍蔵の南アメリカ調査と乗り物

期間 2月4日（土）～平成29年度〔4月23日（日）〕

展示資料点数 17点（館蔵資料17点）

鳥居龍蔵が1937年の南アメリカ調査時に利用したり、調査対象とした乗り物を紹介した。



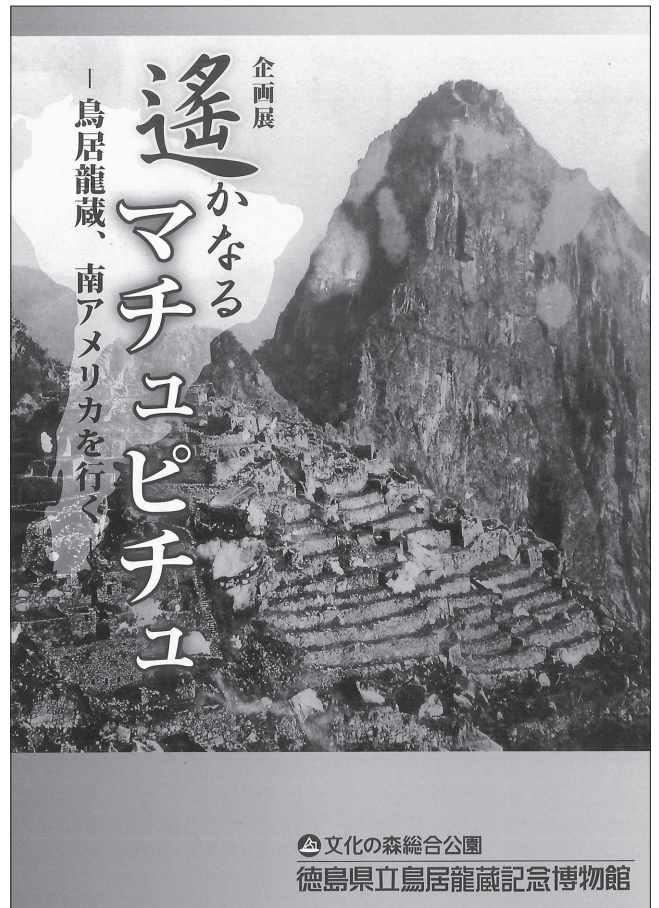
「鳥居龍蔵の南アメリカ調査と乗り物」の展示風景

4. 展示関係出版物

(1) 企画展図録

●企画展「遙かなるマチュピチュ―鳥居龍蔵、南アメリカを行く―」図録

2017年1月28日発行、A4判、36ページ、500部



図録 表紙

Ⅱ 調査研究事業

鳥居龍蔵記念博物館では、設置の趣旨にもとづき、鳥居龍蔵とその周辺に関する調査研究を進めることで、最新の情報を盛り込んだ展示や内容豊かな普及活動による鳥居龍蔵の顕彰を図るための基盤整備を進めている。とくに、館蔵資料に即した調査研究に重点を置いて取り組んでいる。

現在、専任の学芸スタッフ2名を中心に、兼務職員とともにこの業務に携わっている。

1. 平成28年度の調査概要

(1) 館外研究者との共同調査

館外の研究者とともに資料調査を行い、相互に研究の進展を図った。以下に、共同研究者とテーマを列記する。

- ①永井美穂氏（渋沢史料館）、鳥居龍蔵が行ったブラジルのサンパウロ州調査に関する収蔵資料の調査

2. 研究成果の公表

(1) 鳥居龍蔵記念博物館研究報告第3号の発行 2017年3月30日発行、A4判、107ページ、400部

論説

湯浅利彦：徳島市城山貝塚発掘調査の復元的研究（上）—鳥居龍蔵等による1922（大正11）年発掘調査の出土遺物の様相— p.1-47.

石井伸夫：開発と埋蔵文化財保護をめぐる大正期の鳥居龍蔵とその周囲の動向—「勢見岩の鼻」問題に寄せて— p.49-71

資料紹介

松永友和：鳥居きみ子宛坪井正五郎書簡 p.73-82

岡本治代：鳥居龍蔵の愛知調査関連資料 p.83-97

長谷川賢二：鳥居龍蔵の小学校在学歴に関する資料と検討—履歴書・回顧文・卒業証書— p.99-107

徳島県立鳥居龍蔵記念博物館

研究報告

第3号

2017年3月

目次

論説

徳島市城山貝塚発掘調査の復元的研究（上）

—鳥居龍蔵等による1922（大正11）年発掘調査の出土遺物の様相— 湯浅 利彦…1

開発と埋蔵文化財保護をめぐる大正期の鳥居龍蔵とその周囲の動向

—「勢見岩の鼻」問題に寄せて— 石井 伸夫…49

資料紹介

鳥居きみ子宛坪井正五郎書簡……………松永 友和…73

鳥居龍蔵の愛知調査関連資料……………岡本 治代…83

鳥居龍蔵の小学校在学歴に関する資料と検討

—履歴書・回顧文・卒業証書—……………長谷川賢二…99

徳島県立鳥居龍蔵記念博物館
〒770-8070 徳島市八万町向寺山
文化の森総合公園

研究報告 表紙

(2) 公表論文・報告・記事等一覧

〈一般著述〉

湯浅利彦（2017.3）郷土文化教育の素描（下）—地歴学会アンケートをもとにして— 高校地歴、(53)：70-77

石井伸夫（2017.3）歴史のドアを広げよう！徳島から世界への挑戦！「鳥居龍蔵記念 徳島歴史文化フォーラム」の取り組み、徳島教育、(1174)：4-5

Ⅲ 資料収集保存事業

鳥居龍蔵記念博物館では、鳴門市にあった旧館（鳥居記念博物館）から引き継いだ資料の詳細な調査・整理やデータ登録、保存を資料収集保存事業の中心としている。平成28年度は、臨時補助員1人及び文化推進員1人の援助を得て作業を進めた。

また、鳥居龍蔵に関連する資料の新規購入にも努めた。29年度以降も引き続き、新規収集を心がけていきたい。

1. 館蔵資料数

考古資料・民族資料・書籍類・写真・拓本・自筆原稿・書簡等の総数は約70,000点である。調査・整理を継続しており、実数は未だつかめていないが、未開封だった資料の精査が進んできたため、総数は増加傾向にある。

また、28年度は、今後の企画展等の開催計画や情報収集、展示資料の充実を考慮して、一次資料や参考図書を計61点購入した。

2. 写真・映像等の提供

- ①鳥居龍蔵の肖像写真 1点
文京ふるさと歴史館（出版物掲載、パネル展示）
- ②鳥居龍蔵の肖像写真ほか 6点
指宿市考古博物館（パネル展示）
- ③鳥居龍蔵の肖像写真 1点
高知県立歴史民俗資料館（パネル展示）
- ④鳥居龍蔵の肖像写真 1点
恵栢設計（股）公司（展示）
- ⑤鳥居龍蔵の写真 1点
Горбунов, Сергей Вячеславович
（出版物掲載）

3. 資料閲覧

- ①長野県伊那市富県関係資料 22点
長野県伊那市北福地地名調査委員会
- ②ブラジルのサンパウロ州関係資料 90点
浜沢史料館（永井美穂氏）

4. 資料整理ボランティア

鳥居龍蔵記念博物館の収蔵資料及びデータベースの公開に向けて、平成25年度から歴文クラブ（シルバー大学校及び同大学院の歴史文化講座修了者の会）の会員4人からなるボランティアの協力を得て資料整理作業を進めている。

28年度も月2回程度のペースで活動を行い、必要に応じて有識者の助言を得ながらデータの蓄積を図った。28年度の活動実施日は次のとおりである。

- 第1回 5月11日（水）
- 第2回 5月27日（金）
- 第3回 6月7日（火）
- 第4回 6月21日（火）
- 第5回 7月6日（水）
- 第6回 7月26日（火）
- 第7回 9月9日（金）
- 第8回 9月27日（火）
- 第9回 10月18日（火）
- 第10回 11月11日（金）
- 第11回 11月25日（金）
- 第12回 12月6日（火）
- 第13回 2月10日（金）
- 第14回 2月21日（火）
- 第15回 3月14日（火）



ボランティア活動の様子

5. 資料の保存

(1) 収蔵庫における環境管理

当館では、床置き型パッケージエアコンで収蔵庫内の温湿度管理を行っている。開館以来、取り外し可能なフィルターの清掃は行っていたものの、機械内部の洗浄は行っておらず、カビや害虫の発生が懸念された。そこで、平成28年度は、高水量高圧洗浄機を用いたエアコン内部の洗浄を業者に委託して実施した。



エアコン内部洗浄の様子

(2) 常設展示室における環境管理

常設展示室は、収蔵庫のような密閉可能な空間ではないため、害虫の侵入を防ぐことができず、また、展示室全体の燻蒸が不可能である。そこで、害虫への対策として、防虫剤及びトラップの設置による文化財害虫のモニタリングを行っている。28年度も防虫剤及びトラップの設置を行った。

IV 普及教育事業

鳥居龍蔵記念博物館における普及教育事業は、鳥居龍蔵の顕彰を推進するための県民に対する情報発信の意味をもち、重要である。また、調査研究や資料収集保存の成果を示すという意味でも、展示とともに意義深い事業といえる。

1. 普及行事

平成28年度は、ミュージアムトークや野外見学などを行った。また、文化の森合同イベントに参加して体験コーナー開設するなど、普及啓発につとめた。

- ①「こどもの日フェスティバル」(ぬり絵・すごろくで楽しもう!) 5月5日(木・祝) 1,435人
- ②ミュージアムトーク「鳥居龍蔵の研究ライフ」
6月12日(日) 15人
- ③夏休み自由研究スペシャル「みんなで発見!!鳥居龍蔵を知ろう!!」 8月7日(日) 8人
- ④「文化の森 サマーフェスティバル」(民族衣装を着てみよう!) 8月21日(日) 952人
- ⑤ミュージアムトーク「鳥居龍蔵の出会った南米の史跡—ブラジルとペルーを中心に—」
9月25日(日) 10人
- ⑥「文化の森 大秋祭り!!」(日光写真で遊ぼう!!、絵合わせパズルをつくってみよう)
11月3日(火・祝) 1,226人
- ⑦ミュージアムトーク「大正期の鳥居龍蔵と徳島一城山貝塚から勢見山岩の鼻へ—」
11月13日(日) 24人
- ⑧企画展「遙かなるマチュピチュー—鳥居龍蔵、南アメリカを行く—」展示解説
1月29日(日) 52人
- ⑨企画展「遙かなるマチュピチュー—鳥居龍蔵、南アメリカを行く—」記念講演会
2月5日(日) 51人
- ⑩企画展「遙かなるマチュピチュー—鳥居龍蔵、南アメリカを行く—」展示解説
2月11日(土・祝) 20人
- ⑪「文化の森ウインターフェスティバル」(民族衣装とパズルで楽しもう) 2月11日(水・祝) 516人
- ⑫企画展「遙かなるマチュピチュー—鳥居龍蔵、南ア

メリカを行く—」展示解説

2月12日(日) 32人

- ⑬企画展「遙かなるマチュピチュー—鳥居龍蔵、南アメリカを行く—」ワークショップ

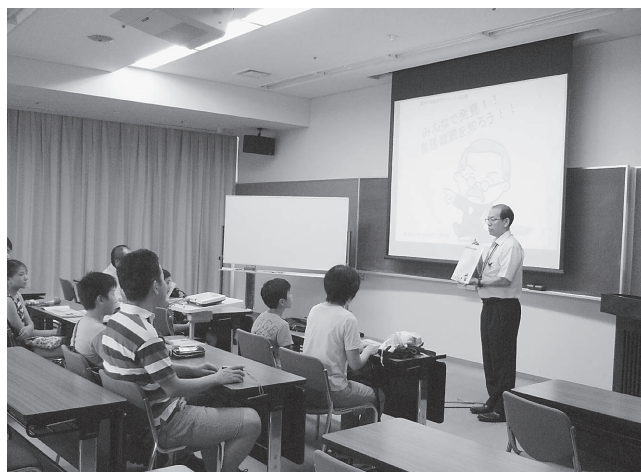
2月26日(日) 12人

- ⑭企画展「遙かなるマチュピチュー—鳥居龍蔵、南アメリカを行く—」展示解説

3月5日(日) 31人

- ⑮「鳥居龍蔵ゆかりの地を歩こう(新町・西富田地区編)」 3月19日(日) 8人

- ⑯クイズラリー 徳島県立博物館が実施しているクイズラリー(対象:高校生以下)に、当館も参画した。平成28年度は、延べ3,318人の参加があった。



夏休み自由研究スペシャルの様子



ミュージアムトークの様子

2. 学校教育の支援

(1) 出前授業

学校からの依頼に応じ、講師として学芸員を派遣した。

- ①川内北小学校（徳島市） 6月16日（木）
6年生 124人
「伝えよう 郷土の偉人」（講師：湯浅、石井）
- ②新町小学校（徳島市） 11月9日（月）
5年生 13人
「伝えよう 郷土の偉人」（講師：下田）



徳島市川内北小学校出前授業の様子

(2) 「教員のための博物館の日」への参加

7月27日（水）、徳島県立博物館で開催された「教員のための博物館の日in徳島 授業に役立つ！博物館活用入門」において、当館のブースを設け、授業への講師派遣（出前授業）について周知を図った。

(3) 徳島県議会小学生社会見学ツアーの受け入れ

県議会事務局が実施している、小学生を対象とした社会見学ツアーを受け入れた。

- ①宮井小学校（徳島市） 6月14日（火）
6年生 21人

(4) 博物館実習生等の受け入れ

徳島県立博物館が受け入れた博物館実習生等の指導を分担した。

- ①博物館実習及び徳島県インターンシップ
8月25日（木）午前
博物館実習生9人、徳島県インターンシップ実習生2人
鳥居龍蔵関連資料の整理（担当：石井）

②博物館実習及び徳島県インターンシップ

8月27日（土）午後
博物館実習生8人、徳島県インターンシップ実習生2人
鳥居龍蔵記念博物館について（担当：下田）

③徳島県教育委員会 初任者研修（企業等研修）

8月25日（木）午前
初任者研修者2人
鳥居龍蔵関連資料の整理（担当：石井）

3. 講師の派遣

外部機関・団体等からの講師派遣依頼について、業務に支障のない範囲で、普及教育事業の一環として対応している。

- 5月22日（日） 下田順一
海部自然・文化セミナーで講演「鳥居龍蔵の県内調査」（海陽町立博物館）
- 6月28日（火） 石井伸夫
徳島県シルバー大学校美馬校で講演「鳥居龍蔵とその時代」（美馬市脇町庁舎）
- 7月9日（土） 石井伸夫
坂の上の雲ミュージアムで講演「鳥居龍蔵、世界に広がる知の遺産」（坂の上の雲ミュージアム）
- 7月20日（水） 下田順一
徳島県シルバー大学校阿南校で講演「鳥居龍蔵とその時代」（阿南ひまわり会館）
- 7月22日（金） 石井伸夫
徳島県シルバー大学校徳島校で講演「鳥居龍蔵とその時代」（県立総合福祉センター）
- 7月30日（土） 石井伸夫
オンリーワンとくしま 講座で講演「鳥居龍蔵、世界に広がる知の遺産」（徳島県立総合教育センター）
- 8月9日（火） 下田順一
徳島県シルバー大学校小松島校で講演「鳥居龍蔵とその時代」（小松島市総合福祉センター）
- 11月14日（月） 石井伸夫
徳島県シルバー大学校上板校で講演「鳥居龍蔵とその時代」（上板町老人福祉センター）

4. インターネットによる情報発信

鳥居龍蔵記念博物館のホームページを開設し、事業の紹介や学習教材の提供などを行っている。内容は次のとおりである。

なお、平成28年度は、「鳥居龍蔵記念 徳島歴史文化フォーラム」の紹介を掲載したほか、「研究報告」

第3号（PDFファイル）をダウンロードできるようにした。

- ・展示・行事等の案内
- ・アクセス案内
- ・学校教育での利用（遠足）の案内
- ・常設展示の紹介
- ・鳥居龍蔵の生涯（年表）
- ・よみもの「阿波の偉人再発見！ 鳥居龍蔵」
- ・鳴門市にあった旧館（徳島県立鳥居記念博物館）の紹介
- ・台湾向けパンフレットのダウンロードコーナー
- ・出版物PDFファイルダウンロードコーナー
- ・鳥居龍蔵記念 徳島歴史文化フォーラム紹介コーナー

5. 鳥居龍蔵記念 徳島歴史文化フォーラムの開催

鳥居龍蔵は、徳島が生んだ世界的な学者である。彼は、人類学、民族学、考古学など多様な手法を駆使し、当時世界最先端の業績をあげたが、その礎は、地元の歴史や文化についてフィールドワークをもとに研究を研究し、その成果を世に問いかけた少年時代の活動にあったといっても過言ではない。このような鳥居龍蔵の取り組みを記念し、徳島の中学生・高校生による歴史文化に関する自主的な研究活動を後押しすることにより、人材の育成を図ることを目的に、平成28年度当事業を試行した。

なお、この事業は平成26・27年度に行った博学連携推進モデル事業（年報5・6号参照）の成果を踏まえて実施することになったものである。

●主催

徳島県立鳥居龍蔵記念博物館
徳島県立博物館

●後援

徳島県博物館協議会

●募集内容及び条件

地域の歴史・文化について自主研究活動を行ってもらい、研究成果をまとめたレポートを募集した。テーマは、①特定の地域の歴史・文化に関すること（必ずしも県内に限定しない）、②鳥居龍蔵に関することのいずれかとした。

また、研究及びレポート作成の条件として、①フィールドワーク（現地での見学や聞き取り、写真撮影等の調査）を行い、その結果をもとに考察すること、②テーマに関連する博物館や資料館を利用すること、③調査内容や結果からの考察を、分掌、図表、地図、写

真等を用いて表現することとした。

●募集期間

7月24日～11月30日（レポートの提出をもって応募とする）

●対象（応募資格）

徳島県内在住の中学校・高等学校及び特別支援学校（中学部・高等部）の生徒及び高等専門学校3年生までの学生を含む）

※個人・グループなど、どのような形態でも参加可能

●募集結果

中学生の部3件、高校生の部7件の応募があり、すべてフォーラムでの口頭発表の対象とした。

●日程

①日 程 2月19日（日）10：00～17：00

中学生の部 10：00～12：00

記念講演 13：00～14：00

講師 天羽利夫氏（鳥居龍蔵を語る会代表）

「鳥居龍蔵博士の足跡と業績に学ぶ」

高校生の部 14：00～17：00

②会 場 文化の森イベントホール

③参加者 126人

●審査・表彰

①審査委員

高橋 啓氏（鳴門教育大学名誉教授）

天羽 利夫氏（鳥居龍蔵を語る会代表）

野々村拓也氏（徳島県中学校教育研究会社会科部
会長・鳴門教育大学附属中学校長）

松山 隆博氏（徳島県高等学校教育研究会地歴学
会長・徳島県立城南高等学校長）

湯浅 利彦（館長）

②審査結果

審査の結果、次のような評価が決定され、全応募作品を表彰した。

〈中学生の部〉

【地域研究部門】

優秀賞「参勤交代から見た徳島藩の姿」

徳島県立城ノ内中学校 箕手大和

奨励賞「勝浦町における町おこし政策について」

勝浦町立勝浦中学校

森内日菜子、松本一輝、寺尾千晴

特別賞「阿波人形浄瑠璃と私」

徳島市川内中学校 篠原瑞稀

〈高校生の部〉

【鳥居龍蔵研究部門】

優秀賞「鳥居龍蔵の功績と影響」

徳島市立高等学校 歴史研究部

森 愛満、谷川みなみ、高橋真結

奨励賞「鳥居龍蔵の調査を検証する」
徳島文理高等学校 郷土研究部
武田航輝、仲岡宏紀

【地域研究部門】

優秀賞「藍商港 ～人と藍が作った港町 小松島～」

徳島県立小松島高等学校 小松島歴史クラブ

石川諒馬、富川みう、天羽飛翔、
幸山晴輝、坂賀早織、森 亮雅

「吉野川下流域の高地蔵は語る」
徳島文理高等学校 郷土研究部
森崎陸斗、前田哲宏、松原圭佑

奨励賞「阿波国における名号板碑と一遍上人」

徳島文理高等学校 郷土研究部
立石雄祐大

「私たちの学校に眠る古代の寺院～白鳳期の阿南を考える～」

徳島県立阿南工業高等学校 稲田竜介

特別賞「近現代における徳島の蚕糸業～徳島県はなぜ西日本有数の養蚕県になり得たのか～」

徳島県立池田高等学校 探究科 歴史研究班

米澤冬斗、井川 樹、竹崎真帆、
谷口日菜子、松丸侑加、森崎晶子、
矢川永莉香



記念講演の様子



表彰式の様子



発表の様子

V 管理運営

1. 組織・職員

(1) 組織図（平成29年4月1日現在）

館長 [1] 一副館長 [1] 一学芸課 4 [4]
 （事務職員 [1]
 学芸員 2 [3]、
 臨時補助員 1、
 文化推進員 1）
 [] は兼務者数（外数）

(2) 職員名簿（平成29年4月1日現在）

館長 湯浅 利彦（県立博物館長本務）
 副館長 笹田 純司（県立博物館副館長本務）
 学芸課長 長谷川賢二（県立博物館人文課長本務）
 課長補佐 石井 伸夫
 係長 坂部 公章（県立博物館係長本務）
 学芸係長 下田 順一
 主任 松永 友和（県立博物館主任本務）
 主任学芸員 岡本 治代（県立博物館主任学芸員本務）
 臨時補助員 行本 尚晃
 文化推進員 竹内 里奈

(3) 人事異動（平成29年4月1日付）

転出：久米みどり・副館長、徳島北高等学校事務課長へ
 転入：笹田 純司・副館長（都市計画課副課長）
 坂部 公章・係長（鳴門市第一中学校教諭）

(4) 平成28年度臨時・非常勤職員

●臨時補助員

大平 理恵（平成28. 5. 1～29. 3. 31）

●文化推進員

竹内 里奈（平成27. 4. 16～）

2. 防災及び危機管理

(1) 危機管理体制

文化の森3館棟で消防防災計画を立て、二十一世紀館、博物館、近代美術館、当館と文化の森の警備、設備、食堂等の業者で自衛消防隊を組織し、訓練を行って非常時に備えている。

(2) 防火防災訓練

10月19日（水）及び11月17日（木）の2度にわたり、二十一世紀館を中心に、防災訓練を行った。11月17日の訓練では、徳島市消防局の指導の下、「心肺蘇生法」の訓練も実施した。また、11月7日（月）には、県危機管理部が中心となり県庁全体で実施した災害時対応のBPC（業務継続計画）訓練（安否情報確認）にも参加した。

3. 鳥居龍蔵記念博物館協議会

鳥居龍蔵記念博物館協議会は、運営に関し館長の諮問に応じるとともに、館長に対して意見を述べる機関で、博物館法及び徳島県文化の森総合公園文化施設条例の規定にもとづき設置されている。委員は、県立博物館協議会委員による兼務である。

平成28年度は、県立博物館協議会を兼ねて1回開催した。

●28年度鳥居龍蔵記念博物館協議会

日時：平成28年9月28日（水）

午後1時30分～4時

会場：徳島県立博物館 講座室

平成28年度鳥居龍蔵記念博物館協議会委員

区分	氏名	役職等
学校教育	堀川 富美	県小学校教育研究会理科部会副会長（芝坂小学校長）
	野々村拓也	県中学校教育研究会社会科部会長（鳴門教育大学附属中学校長）
	平山 義朗	県高等学校教育研究会地歴学会副会長（鳴門渦潮高等学校教頭）
社会教育	松下 師一	松茂町総務課長 元松茂町歴史民俗資料館・人形浄瑠璃芝居史料館館長補佐
	○町田 哲	鳴門教育大学大学院准教授
	中村 豊	徳島大学大学院総合科学研究部准教授
学識経験	◎玉有 繁	元徳島文理大学教授
	玉田 香織	藍住町国際交流協会理事
	佐藤 陽香	徳島新聞社三好支局記者
家庭教育	川原 絵美	八万中学校PTA本部役員

◎は会長、○は副会長

16 管理運営

議事

- (1)平成27年度事業の実施状況について
- (2)平成28年度事業計画について
- (3)その他

4. 視察等来訪者

12月8日 長野県伊那市北福地地名調査委員会一行
2月23日 渋沢史料館 永井美穂氏

VI 観覧者統計

●平成28年度 常設展観覧者数

月	開催日数	有料観覧者							無料観覧者															観覧者総数				
		個人			団体(割引20%)				有料観覧者計	学 校 教 育					個 人					無料観覧者計								
		一般	高校・大学生	小・中学生	一般	高校・大学生	小・中学生	幼稚園・保育園		小学校	中学校	高 校	計	小学生	中学生	高校生	障がい者	高齢者	その他									
4月	25	28	3	0	17	0	2	50	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	211	10	11	16	67	211	526	576
5月	26	37	7	0	16	2	0	62	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	691	29	7	13	186	1,313	2,239	2,301
6月	26	40	6	0	49	2	0	97	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	191	21	25	26	52	227	542	639
7月	27	24	1	0	10	0	0	35	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	477	48	30	33	244	1,159	1,991	2,026
8月	27	—	—	—	—	—	—	—	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,282	97	46	42	490	3,688	5,645	5,645
9月	26	56	9	0	23	0	0	88	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	243	17	9	62	100	467	898	986
10月	26	49	3	0	14	0	0	66	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	203	15	21	63	141	280	723	789
11月	26	14	2	0	3	2	0	21	0	0	2	49	1	8	1	25	4	82	478	26	10	65	241	1,343	2,245	2,266		
12月	24	26	15	0	22	6	0	69	0	0	2	38	1	73	0	0	3	111	116	14	12	35	84	193	565	634	694	
1月	23	21	10	0	11	0	0	42	2	144	0	0	0	0	0	0	2	144	130	19	6	22	89	165	575	617	617	
2月	24	38	12	0	21	1	0	72	2	36	1	8	0	0	0	0	3	44	153	14	3	18	126	427	785	857	857	
3月	27	56	15	1	16	0	0	88	0	0	2	25	0	0	0	0	2	25	135	15	18	20	77	225	515	603	603	
計	307	389	83	1	202	13	2	690	4	180	7	120	2	81	1	25	14	406	4,310	325	198	415	1,897	9,698	17,249	17,939	17,939	

(※) 7月21日(木)～8月31日(水)は「家族でお出かけ・節電キャンペーン」により無料。

●常設展観覧者数累計

年度	開催日数	有料観覧者										無料観覧者															観覧者総数				
		個人			団体(割引20%)				有料観覧者計	学 校 教 育					個 人					無料観覧者計											
		一般	高校・大学生	小・中学生	一般	高校・大学生	小・中学生	減免(割引50%) 大 人		高齢者	障がい者	計	幼稚園・保育園	小学校	中学校	高 校	計	小学生	中学生		高校生	障がい者	高齢者	その他							
22	121	909	33	6	66	0	0	790	49	839	0	0	1,853	9	540	15	851	2	12	1	15	27	1,418	1,259	60	37	—	—	3,432	6,206	8,059
23	309	895	77	13	71	44	0	556	84	640	0	0	1,740	1	90	32	2,179	7	641	3	332	43	3,242	2,950	270	214	—	—	8,510	15,184	16,924
24	308	621	106	4	65	0	0	120	22	142	0	0	938	2	182	33	2,450	2	9	2	341	39	2,982	3,089	225	135	129	829	7,256	14,645	15,583
25	307	506	176	4	48	48	0	—	—	—	—	—	782	10	538	36	2,197	1	3	1	142	48	2,880	2,886	294	158	203	1,071	6,382	13,874	14,656
26	307	436	150	9	110	18	0	—	—	—	—	—	723	8	381	32	1,755	5	97	3	335	48	2,568	2,770	200	76	320	1,575	6,080	13,589	14,312
27	308	409	105	1	266	50	5	—	—	—	—	—	836	3	250	14	644	0	0	1	37	18	931	3,334	323	168	398	2,111	7,964	15,229	16,065
28	307	389	83	1	202	13	2	—	—	—	—	—	690	4	180	7	120	2	81	1	25	14	406	4,310	325	198	415	1,897	9,698	17,249	17,939
計	1,967	4,165	730	38	828	173	7	1,466	155	1,621	0	0	7,562	37	2,161	169	10,196	19	843	12	1,227	237	14,427	20,598	1,697	986	1,465	7,483	49,322	95,976	103,538

(※) 平成24年9月より、高齢者(65歳以上)及び障がい者は無料。

●企画展観覧者数

企画展名	開催期間	開催日数	有料観覧者							無料観覧者					観覧者総数	
			個人			団体(割引20%)				有料観覧者計	個 人					
			一般	高校・大学生	小・中学生	一般	高校・大学生	小・中学生	減免(割引50%) 高齢者		障がい者	高校・大学生	小・中学生	その他		
鳥居龍蔵の見た台湾	平成24.1.28～3.11	38	549	21	1	14	1	0	559	34	1,179	20	1,037	363	1,420	2,599
鳥居龍蔵の国内調査—沖縄・南九州—	平成26.1.25～3.2	32	270	22	0	11	0	0	139	—	442	9	595	707	1,311	1,753
よみがえる縄文世界—鳥居龍蔵の信州調査—	平成27.1.24～3.1	32	377	40	7	78	0	0	285	—	787	39	805	1,196	2,040	2,827
鳥居龍蔵—世界に広がる知の遺産—	平成28.1.23～2.28	32	179	19	0	94	2	0	266	—	560	61	309	901	1,271	1,831
遙かなるマチュピチュ—鳥居龍蔵、南アメリカを行く—	平成29.1.28～3.5	32	536	29	2	194	4	1	592	—	1,358	30	494	1,023	1,547	2,905
合 計		166	1,911	131	10	391	7	1	1,841	34	4,326	159	3,240	4,190	7,589	11,915

(※) 平成24年9月より、障がい者は無料。

●特別陳列観覧者数累計

展示会名	開催期間	開催日数	観覧者総数
鳥居龍蔵の見た北東アジア	平成23.10.29～12.4	32	4,534
鳥居龍蔵とアイヌ	平成25.1.26～3.3	32	5,465
合 計		64	9,999

18 観覧者統計

●人権啓発展観覧者数

展示会名	開催期間	開催日数	観覧者総数
2010年度人権問題啓発展	平成22. 11. 30～12. 5	6	670
2011年度人権問題啓発展	平成23. 12. 6～12. 11	6	383
2012年度人権問題啓発展	平成24. 12. 4～12. 9	6	356
2013年度人権問題啓発展	平成25. 12. 4～12. 10	6	341
2014年度人権問題啓発展	平成26. 12. 10～12. 16	6	315
2015年度人権問題啓発展	平成27. 12. 10～12. 16	6	270
2016年度人権問題啓発展	平成28. 12. 9～12. 15	6	244
合 計		42	2,579

●啓発展を除く共催事業観覧者・参加者数

展示会名	開催期間	開催日数	観覧者総数
鳥居龍蔵が見た「祭り」[踊り]	平成23. 7. 20～8. 28	36	4,038
合 計		36	4,038

(※) 観覧者数は開催期間中の常設展来館者数合計。

●館内各種展示観覧者数

展示会名	開催期間	開催日数	観覧者総数
鳥居龍蔵の南アメリカ調査と乗り物	平成29. 2. 4～4. 23	68	11,031
合 計		68	11,031

●利用者総数年度別一覧

年度	常 設 展		常設展 観覧者 合 計	企画展 観覧者	特別陳列 観 覧 者	移動展等	普及行事 参 加 者	その他	利用者総数
	有 料 観覧者	無 料 観覧者							
22年度	1,853	6,206	8,059	—	—	—	236	670	8,965
23年度	1,740	15,184	16,924	2,599	4,534	—	412	4,421	28,890
24年度	938	14,645	15,583	—	5,465	—	1,968	356	23,372
25年度	782	13,874	14,656	1,753	—	—	3,387	370	20,166
26年度	722	13,589	14,311	2,827	—	—	4,167	336	21,641
27年度	836	15,229	16,065	1,831	—	—	2,898	527	21,321
28年度	690	17,249	17,939	2,905	—	8,683	4,521	600	34,648
累 計	7,561	95,976	103,537	11,915	9,999	8,683	17,589	7,280	159,003

(※) 特別陳列は自主事業のみの観覧者数。その他は、人権啓発展と共催事業を合わせた観覧者数。

VII 施設の概要

1. 沿革

昭和40年 3月 鳴門市撫養町の妙見山に旧館（徳島県立鳥居記念博物館）開館

平成18年 7月 鳥居龍蔵博士の顕彰等に関する検討委員会設置

19年12月 鳥居龍蔵博士の顕彰等に関する検討委員会が「鳥居龍蔵博士の顕彰等に関する検討委員会報告書」を知事に提出

20年 3月 徳島県立鳥居龍蔵記念博物館展示検討委員会設置

7月 徳島県立鳥居龍蔵記念博物館展示検討委員会が「徳島県立鳥居龍蔵記念博物館（仮称）展示計画書」をとりまとめ

21年 3月 展示実施設計完了

7月 展示工事着手

22年 3月 旧館閉館

9月 展示工事竣工

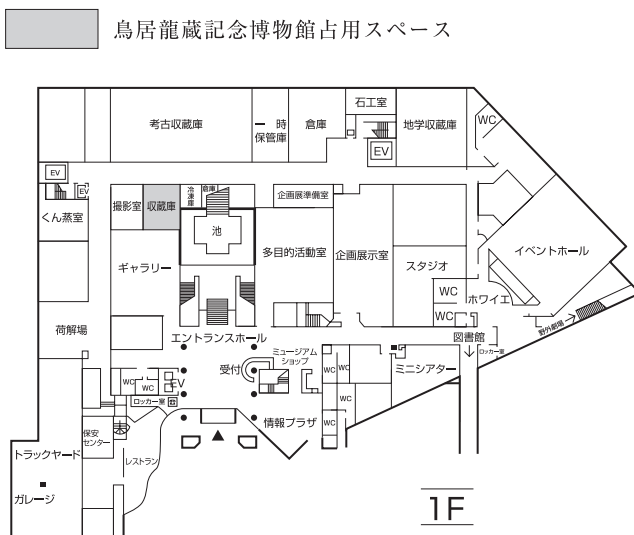
11月 開館

28年 1月～2月 開館5周年記念事業として、企画展「鳥居龍蔵—世界に広がる知の遺産—」及び国際講演会「鳥居龍蔵の再発見—国内外の視点から—」を開催

2. 施設の概要

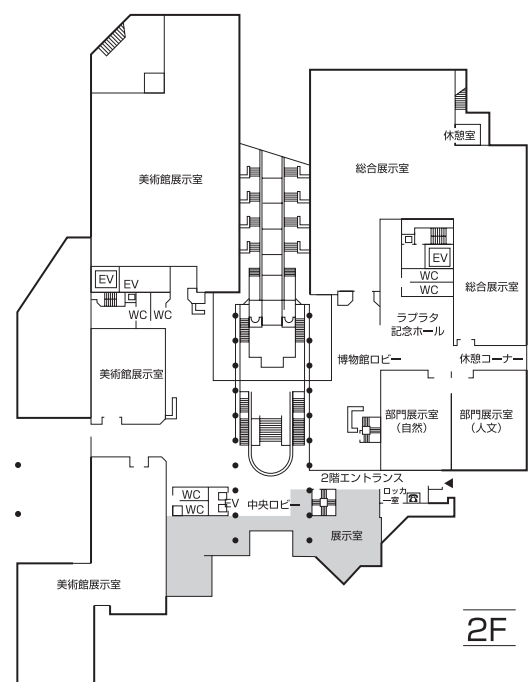
- 所在地 徳島市八万町向寺山
- 敷地面積 40.6ha（文化の森総合公園全体）
- 延床面積 485㎡（展示室、収蔵庫、器材庫等鳥居龍蔵記念博物館占用スペース）
- 構造規模 鉄筋コンクリート造 地上4階・塔屋1階・地下1階
- 改築工事 岡島建築事務所（設計）・小野建設（施工）
- 展示工事 (株)丹青社（設計・施工）

1階平面図



(※) 鳥居龍蔵記念博物館の占用スペースのない階は平面図を省略した。

2階平面図



VIII 例 規

●徳島県文化の森総合公園文化施設条例〔抜粋〕

制 定 平成2年3月26日 徳島県条例第11号
 最近改正 平成28年3月18日 徳島県条例第33号

(設置)

第1条 個性豊かな県民文化を振興し、魅力のある地域づくりに寄与するため、県民の文化活動の拠点として、徳島県文化の森総合公園文化施設（以下「文化施設」という。）を徳島市八万町に設置する。

(名称及び業務)

第2条 文化施設の名称及び業務は、次のとおりとする。

名 称	業 務
徳島県立鳥居龍蔵記念博物館 (以下「鳥居記念館」という。)	1 鳥居龍蔵に関する資料（以下「鳥居記念館資料」という。）を収集し、保管し、及び展示すること。 2 鳥居記念館に関する調査研究を行うこと。 3 鳥居記念館資料に関する講座等の教育普及事業を行うこと。 4 その他鳥居記念館の設置の目的を達成するために必要な事業を実施すること。

(徳島県立図書館、徳島県立博物館、徳島県立近代美術館、徳島県立文書館、徳島県立二十一世紀館の業務は省略)

(利用の許可)

第3条 (省略)

(観覧料等)

第4条 博物館が展示する博物館資料、美術館が展示する美術館資料又は鳥居記念館が展示する鳥居記念館資料を観覧する者に対しては、別表第1に掲げる額の観覧料を徴収する。

2 (省略)

3 知事は、特別の理由があると認めるときは、観覧料又は使用料の全額又は一部を免除することができる。

4 観覧料及び使用料の徴収の時期及び方法その他観覧料及び使用料に関し必要な事項は、規則で定める。

(損害の賠償)

第5条 文化施設を利用する者は、文化施設の施設、資料等をき損し又は亡失したときは、これによって生じた損害を賠償しなければならない。ただし、知事は、当該き損又は亡失がやむを得ない理由によるものであると認めるときは、その賠償責任の全部又は一部を免除することができる。

(職員)

第6条 図書館法（昭和25年法律第118号）及び博物館法（昭和26年法律第285号）に定めるもののほか、文化施設に、館長その他必要な職員を置く。

(協議会)

第7条 教育委員会の附属機関として、次の表の上欄に掲げる協議会を置き、これらの協議会の所掌事務は、それぞれ同表の下欄に掲げるとおりとする。

協 議 会 の 名 称	所 掌 事 務
徳島県立鳥居龍蔵記念博物館協議会	鳥居記念館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、館長に対して意見を述べること。

(他館の各協議会の所掌事務は省略)

2 協議会は、委員10人以内で組織する。

3 徳島県立図書館協議会、徳島県立博物館協議会、徳島県立近代美術館協議会及び徳島県立鳥居龍蔵記念博物館

協議会の委員は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者のうちから任命するものとする。

4 (省略)

5 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

6 委員は、再任されることができる。

7 前各項に定めるもののほか、協議会の組織及び運営に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。

(教育委員会規則への委任)

第8条 この条例に定めるもののほか、文化施設の管理に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。

別表第1 (第4条関係)

区 分	単 位	金 額			
		常 設 展		企 画 展	
		個 人	団体 (20人以上をいう。以下同じ)	個 人	団 体
小学校の児童及び中学校の生徒並びにこれらに準ずる者	1人1回	50円	40円	知事はその都度定める額	
高等学校の生徒並びに高等専門学校及び大学の学生並びにこれらに準ずる者	1人1回	100円	80円		
その他の者 (学齢に達しない者を除く。)	1人1回	200円	160円		

●徳島県立鳥居龍蔵記念博物館管理規則

制 定 平成22年3月31日 徳島県教育委員会規則第4号

最近改正 平成24年11月7日 徳島県教育委員会規則第11号

(趣旨)

第1条 この規則は、徳島県立鳥居龍蔵記念博物館 (以下「鳥居記念館」という。) の管理に関し必要な事項を定めるものとする。

(休館日)

第2条 鳥居記念館の休館日は、次に掲げるとおりとする。

(1)月曜日 ただし、その日が国民の祝日に関する法律 (昭和23年法律第178号) に規定する休日 (以下「休日」という。) に当たるときは、その後においてその日に最も近い休日でない日

(2)12月29日から翌年の1月4日までの日

2 徳島県立鳥居龍蔵記念博物館長 (以下「館長」という。) は、特に必要があると認めるときは、前項の規定にかかわらず臨時に休館し、又は同項に規定する休館日に開館することができる。

(供用時間)

第3条 博物館の供用時間は、午前9時30分から午後5時までとする。

2 館長は、特に必要があると認めるときは、前項の規定にかかわらず、同項に規定する供用時間を変更することができる。

(遵守事項)

第4条 鳥居記念館を利用する者は、徳島県文化の森総合公園文化施設条例 (平成2年徳島県条例第11号) 及びこの規則並びに館長が別に定める利用者心得その他の規律を守らなければならない。

(入館の禁止等)

第5条 館長は、次の各号のいずれかに該当するときは、入館を禁止し、又は退館を命ずることができる。

(1)泥酔者及び伝染性の疾病にかかっていると認められる者

(2)前条の規定に違反し、又はそのおそれがある者

(資料の特別利用)

第6条 学術その他の目的のために鳥居記念館資料の撮影、模写等をしようとする者は、あらかじめ、館長の承認

を受けなければならない。

(補則)

第7条 この規則に定めるもののほか、鳥居記念館の管理に関し必要な事項は、館長が定める。

●徳島県立鳥居龍蔵記念博物館協議会規則

制 定 平成22年3月31日 徳島県教育委員会規則第5号

最近改正 平成24年3月30日 徳島県教育委員会規則第6号

(趣旨)

第1条 この規則は、徳島県文化の森総合公園文化施設条例（平成2年徳島県条例第11号）第7条第7項の規定に基づき、徳島県立鳥居龍蔵記念博物館協議会（以下「協議会」という。）の組織及び運営に関し必要な事項を定めるものとする。

(会長及び副会長)

第2条 協議会に、会長及び副会長1人を置く。

2 会長及び副会長は、委員の互選によって定める。

3 会長は、協議会を代表し、会務を総理する。

4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第3条 協議会の会議は、会長が招集する。

2 協議会の会議は、委員の半数以上の出席がなければ、開くことができない。

3 協議会の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは、会長の決するところによる。

(雑則)

第4条 この規則に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、会長が協議会に諮って定める。

●徳島県教育委員会行政組織規則〔抜粋〕

制 定 昭和45年3月31日 徳島県教育委員会規則第4号

最近改正 平成29年3月31日 徳島県教育委員会規則第4号

第1章 総 則（省略）

第2章 事務局（省略）

第3章 教育機関〔鳥居龍蔵記念博物館に該当する条項のみの抜粋〕

第4節 徳島県立鳥居龍蔵記念博物館

(名称及び位置)

第27条 文化施設条例により設置された徳島県立鳥居龍蔵記念博物館（以下「鳥居記念館」という。）の名称及び位置は、次の表に掲げるとおりとする。

名 称	位 置
徳島県立鳥居龍蔵記念博物館	徳島市八万町向寺山

(内部組織等)

第28条 鳥居記念館に学芸課を置く。

(業務)

第29条 鳥居記念館の業務は、次の各号に掲げるとおりとする。

1 鳥居龍蔵に関する資料（以下「鳥居記念館資料」という。）を収集し、保管し、及び展示すること。

2 鳥居記念館資料に関する調査研究を行うこと。

3 鳥居記念館資料に関する講座等の教育普及事業を行うこと。

4 その他鳥居記念館の設置の目的を達成するために必要な事業を実施すること。

第6節 職及び職務

(所長等の職務)

第32条 総合教育センター及び埋文総合センターの所長、文書館及び二十一世紀館の館長は、上司の命を受け当該

教育機関の事務をつかさどり、所属職員を指揮監督する。

(副所長等)

第33条 上司の命令を受け、教育機関の長を補佐させるため、次の表の上欄に掲げる職を同表の相当下欄に掲げる教育機関に置く。

職	教育機関
副館長	図書館、博物館、美術館、文書館、二十一世紀館、鳥居記念館

2 教育機関の長に事故があるとき、又は教育機関の長が欠けたときは、教育委員会が指定する職員が、その職務を代行する。ただし、やむを得ない事由により教育委員会が教育機関の長の職務を代行する職員を指定することができないときは、当該機関に属する副所長、次長又は副館長（二人以上置かれているときは、当該教育機関の長が指定する次長又は副館長）が、その職務を代行する。

(主幹等)

第34条 前条に規定する職のほか、教育機関に、次の表の上欄に掲げる職のうち必要な職を置き、その職務は、それぞれ同表の相当下欄に掲げるとおりとする。

職	職務
課長	上司の命を受け、課の事務を処理する。
課長補佐	上司の命を受け、特に高度の知識又は経験を必要とする事務、技術又は専門的事務に従事する。
上席学芸員	上司の命を受け、博物館、美術館又は鳥居記念館の重要施策又は重要事業の推進に関する専門的事務に従事する。
主査	上司の命を受け、高度の知識又は経験を必要とする事務又は技術に従事する。
専門学芸員	上司の命を受け、高度の知識又は経験を必要とする博物館、美術館又は鳥居記念館の専門的事務に従事する。
係長	上司の命を受け、当該教育機関の事務に関し命ぜられた事項又は係の事務を処理する。
学芸係長	上司の命を受け、博物館、美術館又は鳥居記念館の専門的事務に関し命ぜられた事項を処理する。
主任	上司の命を受け、相当の知識又は経験を必要とする事務又は技術若しくは専門的事務に従事する。
主任主事	上司の命を受け、相当の経験を必要とする事務に従事する。
主任学芸員	上司の命を受け、相当の経験を必要とする博物館、美術館又は鳥居記念館の専門的事務に従事する。
主事	上司の命を受け、事務又は技術に従事する。
学芸員	上司の命を受け、博物館、美術館又は鳥居記念館の専門的事務に従事する。

(司書、技師その他鳥居記念館に置いていない職は省略)

第4章 附属機関

(附属機関)

第37条 附属機関の名称、庶務を担当する課等又は教育機関は、次の表に掲げるとおりとする。

名称	庶務を担当する課等又は教育機関
徳島県立鳥居龍蔵記念博物館協議会	鳥居記念館

(事務局の各審議会、他館の協議会等は省略)

徳島県立鳥居龍蔵記念博物館年報 第7号 (平成28年度)

平成29年(2017)7月31日 発行

編集・発行：徳島県立鳥居龍蔵記念博物館

〒770-8070 徳島市八万町向寺山

(文化の森総合公園内)

Tel. 088-668-2544 Fax. 088-668-7197

Eメール torii_museum@mt.tokushima-ec.ed.jp

ホームページ <http://www.torii-museum.tokushima-ec.ed.jp/>

印 刷：原田印刷出版株式会社
